

紹介

口蹄疫現地活動等支援について

本誌第63巻第6号において急告した「獣医師の皆様へ—宮崎県下における口蹄疫発生に対する対応—」で示したとおり、本会では宮崎県下における口蹄疫の発生に際して、現地における防疫活動が宮崎県当局の指導の下で的確に推進されることを祈願し、防疫関係用務に充てる諸経費として、200万円を支援した。

支援した義援金のうち100万円については、宮崎

県獣医師会が抛出した200万円とともに、5月26日、宮崎県庁本会2階知事室において、宮崎県獣医師会江藤文夫会長から畜産生産者義援金として、東国原英夫知事に贈呈された。一方、6月1日、政府口蹄疫対策本部長として宮崎県を訪問中の鳩山邦夫首相(当時)及び小川勝也総理補佐官に、本会の北村直人顧問が面談し口蹄疫防疫対策の推進について意見を述べた。



左より 井手口宮崎県獣医師会事務局長、東国原宮崎県知事、江藤宮崎県獣医師会長、寺田宮崎県獣医師会副会長



鳩山前首相、小川総理補佐官に説明を行う北村顧問